

この『生きがい通信』は、兵庫県生きがい創造協会本部の事業やいなみ野学園・阪神シニアカレッジなどの高齢者大学の諸事業、各施設の情報をお知らせしています。

これまでのトピックス

いなみ野学園創立50周年前年祭 第12回「夏のつどい」を開催！

いなみ野学園創立50周年前年祭として、第12回「夏のつどい」を、8月25日、26日の2日間にわたり、いなみ野学園卒業生で組織する「いなみ野学園同窓研修会」との共催により開催しました。

今年度は、「地域&世代間交流！こころつながり！」をテーマに地域の方々との積極的な交流を目指して、いなみ野学園キャンパスを舞台に、小さな子どもからお年寄りまでみんなが楽しめる多彩な催しが繰り広げられました。

1日目の8月25日、大講堂では、サークル活動や地域ボランティア活動、支部・OB活動グループによる演技などの日頃の練習成果が披露されたほか、ゲストによる和太鼓演奏、歌謡ステージで大いに盛り上がりしました。



2日目の8月26日、「プレ50周年 生涯学習フェスティバル」が開催され、元兵庫教育大学教職大学院教授の廣岡徹氏による「兵庫県の生涯学習の変遷と今後」と題した講演や「生涯学習と地域づくりの在り方を考える」パネルディスカッションが行われ、学習の成果を地域に生かす事例が各パネラーから報告されました。



また、けん玉・ヨーヨー、マジック、バルーンアートなどのちびっ子コーナーには多くの子どもたちが集まり家族連れで賑わったほか、各教室では、将棋・囲碁・茶道の体験コーナーなどが行われ、世代を超えてふれあい、学び合う場となりました。

いなみ野学園では、毎年秋に学年別の「ニュースポーツ大会」を実施しています。高齢者の健康づくりに適したニュースポーツを通じて、学生同士が元気で、楽しく、健康の維持と親睦を図ることを目的とし、1年生から4年生まで全学生が参加します。

第13回目を迎える今年の大会は、学生から募集したスローガン「輝く汗、笑顔と感動 ニュースポーツ」の下、9月25日の第2学年を皮切りに、9月27日に第3学年、9月28日に第4学年、10月1日に第1学年の大会が実施されました。参加者は、それぞれの種目に分かれ、クラス対抗総合優勝を目指しました。

今回の特集では、「生涯スポーツ」への関心が高まる中、技術やルールが比較的簡単で、誰でも、どこでも、いつでも気軽に取り組むことができるスポーツとして普及してきたニュースポーツの一部を、いなみ野学園「ニュースポーツ大会」で行われた競技種目を中心に紹介します。日頃体を動かす機会の少ない人も体験してみてもは如何でしょうか。

■ グラウンド・ゴルフ

鳥取県東伯郡泊村で開発された生涯スポーツ。高度な技術を必要とせず、しかも全力を出す場面と、集中力や調整力を発揮する場面がうまく組み合わせられており、ルールも極簡単なことから、初心者でもすぐに取り組みます。



■ ペタンク

南仏生まれのスポーツで、世界中に愛好者がいる国際的なスポーツとして発展してきました。木製のビュット（目標球）に金属製のボールを投げ合い、より近づけることにより得点を競うゲームです。



■ ツウゲットボール

兵庫県生きがい創造協会が、高齢者の生きがいづくりと社会参加を推進するために開発したニュースポーツ。グラウンド・ゴルフのクラブとボールを使用して、専用のマットにめがけて、2回の打数で得点を取り合うゲームです。



■ 囲碁ボール

丹波市で町おこしの一つとして、地域にまつわる故事「碁掛けの勝負」に因んで誕生したスポーツです。白と黒のボールをマット上の49個の目（穴）に入れるゲームで、五目並べの要素を加味した奥の深い競技です。



■ クロリティー

クロリティー (QULORITY) は、輪投げ (Quoits) と活動的 (Sporty) を合わせてつくられた造語です。1988年に考案されたニューコンセプト・スポーツで、その考え方はユニバーサルデザインの理念を下に「いつでも・どこでも・誰とでも・手軽に安全に楽しめるみんなのスポーツ」です。



■ マグダーツ

「ダーツ」はイギリスの兵士達の武器であった弓矢から起こった競技で、的を目がけて矢を射、腕を競い合ったのがルーツとされています。マグダーツはマグネット (磁石) 式の安全ダーツを使用して、老若男女、誰もが楽しめるように用具の簡便化、安全性、ルールの単純化を考慮した競技です。



「理事長のひとこと」 [(公財) 兵庫県生きがい創造協会理事長兼いなみ野学園長 柳瀬 厚子]

— 「スーパーボランティア」に思うこと —

秋も深まり、紅葉が楽しみな季節となりました。平成最後の今年の夏は、記録的な大雨、台風、地震等災害の多い年でした。災害への備えはもちろんのこと、新しい時代を迎える来年は安らかな1年であることを祈るばかりです。

一方、行方不明となった幼児を発見した男性が、地元だけでなく、全国各地の被災地で活躍している「スーパーボランティア」であったことから、改めてボランティア活動について注目を集めました。男性の「これまでいただいた恩を返すため、第2の人生をボランティア活動に捧げる」のことばから、人生100年時代の生き方として、地域を支える高齢者のモデルとして強い印象を受けました。

このことをきっかけに、自らができることをやってみようと思った人も多くいることでしょう。

一方で、私たちの身近な地域にもいらっしゃる、目立たなくても、自ら課題を見つけて、進んで地道な活動を続け、役割を果たしておられる「スーパーボランティア」に、改めて感謝と敬意を表したいと思います。

そして、ボランティア精神や人生100年時代の生き方について、一時的な話題に終わらず、新しい時代へ向けて語り継いでいきたいと思います。

「平成30年度社会教育関係職員スキルアップ研修」を実施しました！

生涯学習部では、社会教育・生涯学習施策や事業の推進及び改善のための資質、能力の向上を図る、社会教育関係職員スキルアップ研修を実施しています。今年度は「ファシリテーション力」「情報発信力」「事業実践力」の3テーマで講座を設け、いなみ野学園を会場に実施しました。

ファシリテーション向上セミナー

日時 平成30年8月7日（火）10:00～16:00
講師 西村 善美 氏（株式会社ひとまち 事業部長）
内容 ファシリテーションの基本とも言えるコミュニケーショントレーニングに始まり、参加者が力を発揮しやすい安心・安全な場づくりのための「環境調整」をするファシリテーターの役割について教えていただきました。
そして、ホワイトボードミーティングの演習では、3人グループに分かれて役割を交代しながら進めました。屋台の企画など楽しいテーマを設定してくださるので、参加者は意見の出しやすい雰囲気の中で、主体的に演習に参加することができました。

参加者 17名



情報発信力向上セミナー

日時 平成30年9月14日（金）10:00～16:00
講師 吉田 清彦 氏（講座企画塾 主宰）
内容 「行列ができる講座と、思わず手を取るチラシの作り方」と題して、実際に手直しされたチラシのビフォーアフターに解説を加えながら、講座の企画段階から広報について考えていく必要性について教えていただきました。
後半は「パソコンミニ講習」として、実際に受講者がパソコンを操作しながら袋文字を作るなど、その日からでも即使える実践的なWordを使ったチラシ作成のテクニックについて教えていただきました。

参加者 21名



事業実践力向上セミナー

日時 ①平成30年 7月19日（木）10:00～17:00
②平成30年 8月31日（金）10:00～17:00
③平成30年12月13日（木）10:00～17:00
講師 川島 憲志 氏（フリーランス）
内容 事業実践力向上セミナーは3回連続講座です。参加者は少ないものの、大学のゼミのような雰囲気の中で1日目と2日目のセミナーが進められました。この2回では、企画書の書き方から、企画に必要な考え方などを教えていただき、受講生は自分自身の関わっている事業について見直すことができました。
3回目のセミナーでは、受講生が実際に実施した事業の報告会を予定しています。



いなみ野学園研究生による公開講座を実施しました！

いなみ野学園では、大学院講座の修了生を対象に生涯学習施設での講師や指導者を輩出するための「研究生」制度を実施しています。

研究生の日頃の調査研究活動の成果を地域の方に知っていただくため、10月11日に公開講座を実施しました。22回目を数える今回は「循環型社会へ地方の取組み 木質バイオマスエネルギーの活用」と題して、研究生の岸本吉弘氏が講義を行いました。参加者は熱心に聴講されていました。



県公館で、学生たちの力作を展示しました！

10月13日（土）と14日（日）の2日間実施された兵庫県公館秋の一般公開に合わせて、「兵庫県いなみ野学園作品展」を県公館第2会議室で開催しました。陶芸、絵画、書道、写真、水墨、能面の作品120点を展示しましたが、会場を訪れた人たちは学生作品のレベルの高さに感心しながら熱心に鑑賞されていました。



「ひょうご五国博 ふれあいフェスティバル in 東播磨」に参加！

10月20・21日（土・日）に明石公園で「ふれあいフェスティバル in 東播磨」が開催され、生きがい創造協会から事務局、ふるさとひょうご創生塾、いなみ野学園が参加しました。

事務局、ふるさとひょうご創生塾のPRブースでは、事業紹介パネルの展示やアンケート調査を実施し、約700名の方にお越しいただきました。

また、いなみ野学園スタッフによる“昔遊び”のブースでは、424名という多くの子どもたちがブンブンゴマや割箸鉄砲づくりを体験しました。

フェスティバルは2日とも好天に恵まれ、両ブースとも大盛況で、多くの方に生きがい創造協会や各施設を知っていただく機会となりました。



第22期生の各チームが実践活動に取り組んでいます！

地域やくらしの課題に根ざした活動テーマを塾生自らが考え、グループごとに分かれ企画した実践活動計画に対し、4月の「企画の中間発表会」、7月の「企画報告会」における企画運営委員からのアドバイスやチーム講師の指導・助言を踏まえ、活動内容の見直しや修正を図り、それぞれのチームが実践活動に取り組んでいます。

チーム「笑納」

笑顔あふれる農家作りをコンセプトに、機能性野菜の試験栽培を実施するとともに、たつの市でのジャガイモの収穫体験や、淡路市での採りたて野菜を食す農業懇談会など農家と都市住民との交流会を開催しました。



チーム「ひょうごファンクラブ」

「加古川地域の魅力発見&発信プロジェクト～地域の人を魅力溢れる伝道師に！」として、魅力情報の発信の仕組みを考えるイベントを開催しました。



チーム「ふるさとホーム」

ふるさとの味づくり体験—ふるさとの料理文化に触れようと、小学生を対象とした塩作り、テングサの加工と寒天料理、タコもみと料理を行い、作った料理の会食と交流などのイベントを開催しました。



チーム「フランド大好き」

住みたい街・住み続けたい街「芦屋浜」のブランドを作るとして、お互いの顔を知るために、「クロスロードゲーム」を防災訓練の一つとして実施する予定で、それぞれ準備を進めています。



「阪神シニアカレッジ文化祭2018」を実施しました！

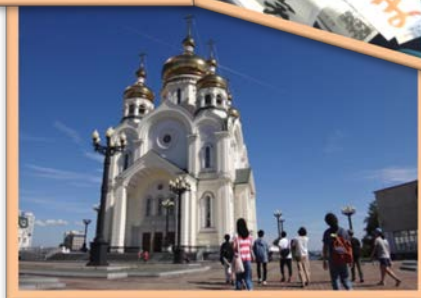
日時 平成30年10月10日（水）～11日（木）
場所 宝塚ソリオ
内容 来年4月、これまで4か所に分散していた学習室が一つに集約され、すべての学生が集える新キャンパスが誕生します。そこで、今年の文化祭では、「新しい学び舎へ つなごう高めよう 学ぶ情熱 仲間の絆」をテーマに、新しい環境での授業、多くの仲間との出会いなど、新しい学び舎への期待を胸に、受講生等が日頃の学習成果やクラブ活動の発表を行いました。



嬉野台生涯教育センターだより

「ひょうご・ロシアハバロフスク少年少女交流スクール」でハバロフスクに行ってきました！

日程 平成30年7月31日（火）～8月7日（火）
場所 ロシア連邦ハバロフスク地方
訪問団 スクール生12名（中1～高1）、引率者4名 合計16名
内容 兵庫県内の中・高校生のスクール生12名が、ロシア連邦ハバロフスク地方を訪問。宿泊研修施設でロシアの子どもたちと様々な活動と一緒にいたり、生活を共にすることで、仲間意識が高まったり、ロシアの文化や日常生活にふれることができ、兵庫県とロシアハバロフスクの友好関係をさらに深めていく良い機会となりました。
また、サッカー親善試合をロシア、兵庫混成チームで対戦したり、ダンスをいっしょに踊ったりして言葉の壁を越えた参加者同士の絆を深める機会となり、スクール生それぞれが自分のミッションを意識するとともに集団行動の規範について学ぶことができました。



「第51回文教府夏期大学」を開催しました！

- 日 時 平成30年8月18日（土）
場 所 豊岡市民会館 文化ホール
講 師 アグネス・チャン 氏（歌手、エッセイスト、教育学博士）
柳生 博 氏（日本野鳥の会会長、コウノトリファンクラブ会長）
内 容 51回目を迎える今回は、県政150周年記念事業に位置付け、地元豊岡こうのとり太鼓のオープニング演奏の後、2名の講師をお迎えし、千名を超える多数の皆様に参加いただきました。コウノトリの野生復帰に象徴される「自然との共生」、地域における国際交流や相互理解など「多文化共生」をテーマとする2つの講演は、但馬の課題を共有するとともに但馬の魅力・価値を再認識し、次世代への継承を図るなど、ふるさと但馬の未来について考える大変有意義な講演会となりました。



「科学チャレンジ2018 in 但馬文教府」を開催しました！

- 日 時 平成30年9月29日（土）
会 場 但馬文教府
内 容 次代を担う但馬の子どもたちに、科学に関する優れた取組の発表や実験、体験活動など、科学の一端に触ることにより、科学への好奇心を醸成し、将来の但馬地域の活性や世界レベルで活躍する人づくりの契機とすることを目的として開催しました。JAXA宇宙教育センターのコズミックカレッジや、県立人と自然の博物館ほか、多くの大学や企業による多彩な体験プログラムが実施され、子どもたちは、初めて触れる科学の実験や工作体験などに大変興味を持って参加していました。当日は、800名を超える来場者で終日賑わい、大盛況のうちに終了しました。



サイエンスショー 冷凍火山大噴火



JAXAコズミックカレッジ



77000人が楽しんだわくわく科学実験



神戸学院サイエンスLab



出前おもしろ実験室



コピー機になってみよう



ゆめはく



ミニ水族館

<開催イベント（協力団体）>

- 「サイエンスショー 冷凍火山大噴火」（アインシュタインラボ）・「JAXA コズミックカレッジ」（JAXA）・
- 「77000人が楽しんだわくわく科学実験」（近畿大学理工学総合研究所）・
- 「神戸学院サイエンスLab」（神戸学院大学薬学部科学クラブ）・「出前おもしろ実験室」（鳥取大学）・
- 「コピー機になってみよう」（株式会社リコー）・「ゆめはく」（県立人と自然の博物館）・
- 「ミニ水族館」（県立香住高等学校 海洋科学科）



ゆうゆう学園（西播磨高齢者文化大学）軽スポーツ大会を実施しました！

日 時 平成30年10月5日（金）9：00～15：00
場 所 西播磨文化会館 体育館
内 容 午前中は上体起こしや障害物歩行などの体力測定を、
午後からは学年対抗によるゲームを行い、ボール送り
輪投げ、スプーンリレー、紅白玉入れの4種目で得点
を競いました。
この軽スポーツ大会は、龍野北高等学校との交流行事
でもあり、高校生と高齢者が一緒になって体力測定や
競技を楽しみました。



ゆうゆう学園（西播磨高齢者文化大学）オープンカレッジ（体験・見学会）を開催！

ゆうゆう学園（西播磨高齢者文化大学・大学院）に興味関心をお持ちの皆さんを対象に、体験・見学会（公開講座、大学説明会、クラブ見学）を2回実施します。

日 時 第1回 平成31年1月25日（金）10：15～15：00（受付9：45～）
第2回 平成31年2月 8日（金）10：15～15：00（受付9：45～）
場 所 西播磨文化会館
日 程 9：45～ 受 付
10：15～11：45 公開講座
＜第1回＞ 平成31年1月25日（金）
演 題：「人との絆（たすき）に込めた想い」
講 師：小林 祐梨子 氏（陸上北京五輪出場）
＜第2回＞ 平成31年2月8日（金）
演 題：「死ぬときに後悔すること25」より生きるヒントを頂く
講 師：佐々木 蓮乗 氏（西願寺副住職・本願寺派布教使）
11：45～13：00 昼食
13：00～13：30 大学説明会
13：30～15：00 クラブ見学（園芸・手芸・陶芸・俳句・水墨画・郷土探訪・社交
ダンス、ニュースポーツ・太極拳・写真・コーラス・パソコン）
その他 ○どなたでも参加できます ○参加料無料 ○駐車場あり
○昼食は各自でご用意ください

淡路人形浄瑠璃後継者交流発表会を開催しました！

7月21日（土）、22日（日）の2日間にわたり、淡路人形浄瑠璃魅力発信事業実行委員会等の主催により、人形浄瑠璃の後継者の交流と発表の場として「淡路人形浄瑠璃後継者交流発表会」が開催されました。1日目に交流会が南あわじ市福良地区公民館で、2日目に発表会が淡路人形座で実施され、今年は徳島県から那賀高等学校と小松島西高等学校勝浦校を迎え、人形浄瑠璃の継承に取り組む者同士が交流を深めました。



学ぶ高齢者の集い淡路ブロック大会を開催しました！



日 時 平成30年10月17日（水）10:00～16:00
場 所 淡路文化会館
内 容 兵庫県高齢者学習研究協議会淡路ブロックと淡路文化会館の主催により、淡路地域で学ぶ高齢者が一堂に会して日頃の学習成果を発表する「学ぶ高齢者の集い淡路ブロック大会」を開催しました。当日は、島内の高齢者大学から435名が参加、プロ棋士の神吉宏充七段による記念講演はじめ、各市代表者の“主張”や24のグループによる舞台発表などが行われ、日頃の活動の成果を存分に発揮しました。

また、10月11日（木）から17日（水）にかけて、絵画、陶芸、彫刻など150点を展示する作品展が開催され、プロ顔負けの素晴らしい作品が披露されました。

平成30年10月発行

公益財団法人 兵庫県生きがい創造協会
〒675-0188

加古川市平岡町新在家 902-3

TEL:079-424-9832 FAX:079-424-3475

いなみ野学園	079-424-3342
ひょうごラジオカレッジ	079-424-3343
阪神シニアカレッジ	0797-85-8880
嬉野台生涯教育センター	0795-44-0711
但馬文教府	0796-22-4407
西播磨文化会館	0791-75-3663
淡路文化会館	0799-85-1391